

修了生代表挨拶

暖かい日の光が降り注ぎ、桜の蕾も膨らみ始め、春の訪れが感じられるようになりました。本日は、私たちのために修了式を催して頂き、誠にありがとうございます。私たち専攻科二十一期生が、こうして修了証書を手にすることができまし

たのも、先生方の熱意あるご指導をはじめ、皆様の温かいご支援のおかげです。心から御礼申し上げます。

福井高専で過ごした7年間は長いようで短く、瞬く間に過ぎ去りました。まだ高専に入学したば

かりのあの頃、自分たちよりずっと大人に見えていた専攻科生に自分がなり、そして修了式を迎えているという事実に、信じられない思いでいっぱいです。私が本当に、あの時憧れた先輩の方のようになれていると断言することは出来ません。

それでも、確かに私達は成長したと胸を張つて言うことができます。また、私達が成長し、専攻科修了生となつて、今ここに立てていることを誇りに思います。様々な困難を乗り越え、歩みを進めでこられたのは、偏に皆様のおかげであり、感謝の気持ちでいっぱいです。

私が本科から専攻科に進学した理由の一つとして、海外留学がありました。本科五年で一度、留学の試験に落ちてしまい、それでも諦めきれず専攻科へ進学しました。専攻科での勉強は決して優しいものではなく、本科での勉強とは比べ物にならないくらい高度な専門分野の講義や、他学科の専門科目の講義、グループワークなど、忙しい日々を送ることとなりました。その上で、海外留学の為の勉強を重ね、専攻科二年次にようやく留

学の切符を手に入れることができました。しかし、合格の知らせを受けた時、私はもう一つの目標として受けていた就職試験の合格も掴んでいました。専攻科で多くのことを学んでいく中で、私は、今までに身に付けた知識・技術を活かし、

働きたいとも考えていました。自分の目の前にいきなり開けた二つの道に、どちらに進めば良いのか本当に悩みました。そんな時に相談に乗ってくれたり、支えてくれたのが両親や先生方、そして友人でした。彼らの存在に励まされ、私は、就職

という道を選び、進むことを決めることができました。この選択は、絶対に一人ではすることが出来なかつたと思います。この選択が正しいのか、私にはまだわかりませんし、これからも分からないのかもしれません。しかし、悩み、考え、下したこの決断に後悔はありません。不安もありますが、それよりも大きな期待を胸に、これからは社会に貢献していく所存です。

また、専攻科での研究でも、私は多くの人に支えられていました。担当の先生には、未熟な私にいつも手を貸してくれました。彼らがいなければ、私は研究を終えることが出来なかつたかもしれません

ません。本当に心から感謝しています。

高専生活七年间での、全ての出会いに感謝し、この繋がりをいつまでも大事にしていきます。そして、これまで私達を育て、最も近くで支えてくれた家族には、「ありがとう」では伝えきれない

思いでいっぱいです。最大限の感謝をし、これからは親孝行していきたいと思います。

今、私達は専攻科を修了し、旅立ちの日を迎えています。しかし、人生はまだまだ序章であり、これからも勉強することが多くあります。専攻

科修了生一同、この福井高専で過ごした日々を、学んだことを、そしてたくさんの人々との出会いを心に刻み、これからもより一層、頑張っていきたいと思います。これからのお達の人生を、末長くお見守りいただけ幸いです。

最後になりますが、本日お集まりの皆様の今後の活躍とご健康、並びに福井高専の益々の発展をお祈りし、修了生代表の挨拶とさせていただきま

令和二年三月十九日

福井工業高等専門学校専攻科
環境システム工学専攻

修了生代表

佐々木 香奈